



mounting
systems



Lambda Light EW+ (ラムダ・ライト EW+)

東西方向

Lambda Light EW+ (ラムダ・ライトEW+)は、屋根に穴を開けることなく、東西方向に取付け可能なモジュールシステムです。必要とするバラストは最小限。Lambda Light EW+の傾斜角は、10°または15°。最大出力、もしくは最大のモジュール数での設置を可能にする上で、最適な配置の角度となっています。

また、横置きでモジュールを柔軟に配置することで、屋根への重みの分散を最適な状態に保ちます。屋根に対する荷重を最小限にするため、風洞試験を実施し、その結果に基づきLambda Light EW+ は最適化されました。

Lambda Light EW+ の柔軟性のある設計は、中央柱脚の上部と、前の留め位置をひねるだけで、全く同じ部品・部材で、10°と15°いずれの傾斜度での設置も可能にしました。更に、モジュールを固定する特別な金具、実績あるクリックストーン技術を使い、迅速かつ簡単に設置ができます。

最大限の耐用年数

部品の材料は、すべて押出アルミニウムかステンレススチールですので、これらの材料特性である高リサイクル性と高耐食性が、最大限の耐用年数を保証します。



フラットルーフ



東西方向



フレーム付
モジュール



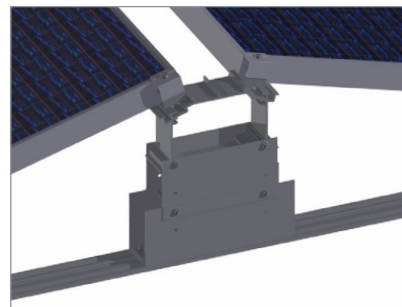
ヨコ設置



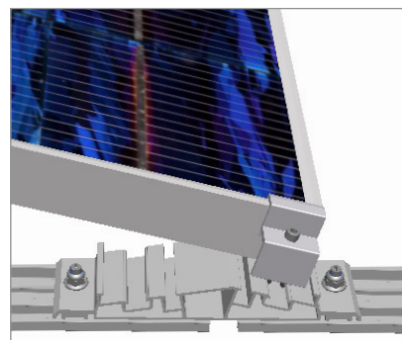


mounting
systems

| | |
|------------|---|
| 使用 | 平屋根 ¹ 屋根の傾斜角は最大5°まで |
| 建物の高さ | 太陽電池モジュール設置場所の風荷重により決定 |
| モジュール | フレーム付き |
| モジュール幅 | 785-1050mm |
| モジュールの配置 | 複合配置 (最低面積: 10 m ²) |
| モジュールの設置方向 | 横置き |
| 傾斜角 | 10° もしくは 15° |
| モジュールの配置面積 | 制限なし、最低面積は10 m ² |
| モジュールの配置場所 | 特別な条件なし |
| 規格 | Eurocode 1 – 構造上の動き Eurocode 9 – アルミ構造の設計 ² |
| 支持部の材料 | アルミニウム (EN AW 6063 T66)、(EN AW 6060 T6) |
| 小部品の材料 | ステンレススチール (V2A) |
| 保証 | 10年 ³ |



中央の支持部の詳細図



前の支持部の詳細図

1 注意: プロジェクトの如何を問わず、建物が、架台を固定するに適しているか、確認してください。

2 ご希望により、固定強度の予測値を公式に評価することが可能です。評価には、別途追加料金が掛かります。

3 保証内容の詳細は、マウンティングシステム社の保証書をご覧ください。

詳細につきましては、当社ホームページ (www.mounting-systems.com) をご覧ください。

技術上の変更が行われる場合があります。

2014 © Mounting Systems GmbH